



No.41
たけとみちょう

こんにちは 議会 です。



ぱいぬしま



～新庁舎と議場の見学に来ました。～ 小浜島・サロンきりんの皆さん(令和4年12月6日)

議会だより

- 令和4年第7回議会(12月定例会) 2
- 12月定例会一般質問 2
- 記者の目 8



12月定例会

(イメージ図)

工事委託契約

小浜海底送水管更新工事
7億8,034万円

財産の取得について

投票用紙自動交付機
24台

(イメージ図)

12月定例会

令和4年第7回(12月)定例会は、12月9日から16日までの8日間の会期で開かれました。

定例会では、報告2件、承認案1件、補正予算案7件、条例案6件、その他9件の議案が前泊正人町長より提出され審議されました。

慎重審議の結果、全議案について、可決されました。

補正予算を可決

- ・一般会計(第10号)…4億3,660万6千円増額
- ・国保会計(第1号)…306万1千円増額
- ・後期会計(第1号)…63万6千円増額
- ・介護保険(第2号)…款項の区分変更
- ・水道会計…3,472万9千円増額

※ 議決結果は竹富町ホームページをご参照ください。

ズバリ！ 町政を問う!!

○ 12月定例会 一般質問（要旨抜粋）○

【一般質問の様子は、QRコードより [You Tube](#) でご覧いただけます。】

町長 今示されている病院の隣接地の3案。これ以外の選択肢は私の中ではありません。新石垣空港にヘリポートというのを、1ミリも考えていないと病院の事業局長にも申し上げた。一番問題だなと思ったところは、この協議会の中にこれまで竹富町が参加させてもらえないなかつた。我々として調査すべきところは調査をして提案していく、こういつ

の真栄里ヘリポートが使用できなくなる可能性があり、新ヘリポートの整備を県へ要請した経緯がある。現在、八重山病院南側に整備されている暫定ヘリポートは、あくまで暫定であり、町民からは、八重山病院隣接地での恒久的ヘリポートの設置を強く求める多くの声がある。現在の進捗は。



●急患搬送用ヘリポート



だい く けん いち
大久研一議員

た形で石垣市、八重山病院含め、しつかりとこのお互いの着地点を見つけながら強く要望している。

大久議員 9月に可決された、ふるさと応援基金を活用した住民等船賃負担軽減事業で、燃料サーキュレーション加算前の基本料金に戻つて町民は喜んでいる。4月以来はどのように考えているか。

政策推進課長 令和5年度においても実施の準備をしているが、現在の本町の財政状況等を鑑みて、まずは4月から9月の半年分を当初予算において要求している。

●多機能型貨物船導入事業

大久議員 農協丸の運行は、令和7年12月までと、あと3年間しかかない。それまでに貨物船は間に合うのか。

政策推進課長 専門家や造船事業者と意見交換会を続けており、今の計画ではおおむね間に合いそうだということを進めていく。遅れることがないようスピード感を持って取り組む。

まちづくり課長

港湾を管理する沖縄県では、まだ事業採択に

・高齢者福祉

話合いがあつたが、県は防波堤、防潮堤と岸壁のかさ上げ整備をするのか。どういう方向を目指しているか。

こんな質問もしました

山盛議員

先月、東部地区で

現場職員人数は数十人規模になるだろうということで進めていく。ある程度まとまりましたら、今月中に提示したい。

仲間港について

現在、大原庁舎につきましては、諸室の機能と規模等の変更内容、事業費の確認等を最終的に行つており、役場職員人数は数十人規模になるだろうということで進めていく。ある程度まとまりましたら、今月中に提示したい。

山盛議員 職員数は概算でどのくらい予定をしているのか。

西表庁舎

やまもり つとむ
山盛 力議員



県道215号について

山盛議員 世界遺産登録がなされ、イリオモテヤマネコをはじめとする希少動物の交通事故が心配されるが、県道の維持管理には変化が見えない。県の対応、担当課はどのように考えているか。

まちづくり課長 県道の草刈り等の維持管理については、沖縄県が業者へ委託をしており、ご指摘のとおり、管理が不十分であることは認識している。町としても、その都度県へ要望しているところである。排水路の管理や電線切断の防止のための街路樹剪定を含めて、今後も引き続き要望していきたい。

波照間小中学校について

加屋本議員 波照間小中学校の校舎が新しくできて、まだ3年ぐらいだと思うが、雨漏りがひどく困っている。なぜ雨漏りが起きているのか伺う。

・第一次産業
・波照間漁港
・パレット条例

こんな質問もしました

政策推進課長 航空会社のほうで機材と乗員の補助員のやりくりができるず、就航が延期となつた。運航体制が整い次第、就航する予定で、新たな就航時期が確定次第、航空会社よりまた発表があると伺っている。

加屋本議員 空港再開と役場からラインが入り、その後には、延期となつた。延期になつた経緯を伺う。

波照間航空路再開、海上交通

か や もと しんいち
加屋本 真一議員



公園整備について

加屋本議員 ムシャマー公園にもう少し遊具を増やすことはできないか。

農林水産課長 ムシャマー公園の遊具は、令和元年度にふるさと応援基金を活用し、コンビネーション遊具を設置している。遊具設置については、他の地域からも公園整備と併せて多数要望等がある。遊具の選定や維持管理等、地域の要望を伺いながら導入に向けて検討したい。

教育委員会総務課長 報告を受けて現場確認をしたが、詳細な内容を知るために、当時の設計、建築、設備を担当した各業者を含めて、現場に出向き調査しようと動いている。急ぎ調整し、原因を確認し対応していきたい。



は至っていないが、港湾整備計画策定委託業務の中で仲間港港湾整備計画と、仲間港耐震強化岸壁整備計画の策定業務を進めしており、議員が言うとおり、先月、沖縄県港湾担当者から、地元関係者へ説明会を行つてている。

【一般質問の様子は、QRコードより YouTube でご覧いただけます。】



ひがしおみね はじめ
東金嶺 肇議員

保については地域おこし協力隊と連携して検討しているというが、実際に業務への支援や活動内容の確認、把握などは、どれくらい関わっているか。地域おこし協力隊の活動状況と役場との連携について伺う。

政策推進課長

協力隊には週報といつて、その週ごとに活動した内容を役場の担当者へ報告する形を取っている。その中で波照間

航空路線再開に係る交通網の整理、調査研究であつたり、それ以外にも役場の各課等の支援、あるいは社協の業務も一部担つている。今は地道な活動をしており、なかなか地域住民にも理解はしても知広報にも力を入れていきたい。

まちづくり課長　浦内広場の件について伺う。

●浦内公民館要請

前津議員　浦内広場の件について伺う。



まえづ よしよ お 前津芳生議員



●上原地区の防風林の伐採
前津議員　上原地区の土地改良の防風林。モクマオウが伸び過ぎて、台風のたびに道を塞ぎ、枝が飛んでパイン畑の実を倒し、被害が大きい。モクマオウだけ間引きか伐採をしてほしいという地域農家の要望について伺う。

農林水産課長

上原中野管理組合から改善に向けての要請があり、組合員立会いの下、現地を確認している。防風林帯がかなり広範囲で、一度に間引きすることには大変厳しいことから、年次ごとに伐採していくことで、組合の同意を得ている。

こんな質問もしました
●上原地区の防風林の伐採
前津議員　上原地区の土地改良の防風林。モクマオウが伸び過ぎて、台風のたびに道を塞ぎ、枝が飛んでパイン畑の実を倒し、被害が大きい。モクマオウだけ間引きか伐採をしてほしいという地域農家の要望について伺う。

●集中脱葉施設整備の進捗

東金嶺議員　波照間地区の事業導入について、前回の答弁で、脱葉施設導入時にはなかつた新たな振興策の事業が創設されているので、事業採択に向けて取り組むということでしたが、その後について伺う。

●高速船　エンジン乗せ替え

農林水産課長　波照間地区において事業説明会があり、その説明会の後に、お集まりいただいた生産農家の皆様と集中脱葉施設について意見交換会を持った。その場において、アンケートを実施し、整備を要望する多くの意見があつた。今期製糖操業後に、改めて多くの生産農家との意見交換を進めたい。

東金嶺議員　ぱいじま2のエンジンの乗せ替えについては、役場は事業者と国へ要請を行っているが、その後の経過はどのようになっているか。

●波照間航空路再開
東金嶺議員　空港からの足の確保

政策推進課長　その後も町から安栄観光さんには状況報告も含めて確認を求めていますが、まだ協議中とか、いろいろと調整中といふことで連絡を受けておりますので、また引き続きやり取りをしていきたいと考えている。

農林水産課長　優良母牛導入事業の継続は来年度以降も継続可能か。

●畜産振興
(優良母牛導入事業の継続)
前津議員



・自主防災組織

こんな質問もしました

上勢頭議員 令和2年度から始まつた竹富町産後ケア事業は、事業開始から今までどれくらいの人数の利用があつたか。

●産後ケア事業の利用状況と周知について

こんな質問もしました

- 複合型福祉施設の整備
- 教育を拡充する政策

●町営住宅の現在の状況と今後の計画

上勢頭議員

町内161戸のうち、竹富島はたつた2戸です。

アパート、マンションが建てられないのでも、ぜひ町営住宅を増やしていただきたい。竹富島の町営住宅の建設計画は。



うえせどたくみ
上勢頭巧議員

健康づくり課長 令和2年10月の開始から本年11月までの利用状況は、母子健康保険手帳を交付した方98人のうち、産後ケア事業を利用した人数は29名、約30%の方々が利用している。サービスの中の宿泊では、実人数3年間で14名、延べ回数40回、デイサービスは実人数23人、延べ回数55回となっている。

●訪問税の導入時期と徴収方法

上勢頭議員

訪問税の導入も考へていると思うが、導入時期と徴収方法について伺う。

自然観光課長

導入時期は、検討会の議論を基に来年度、審議会を設置し条例案の作成や、総務大臣による同意に向け本格的な調整を進める。総務省との調整次第だが、早ければ来年度中に条例を公布し、制定後、十分な周知、準備期間を経た上で導入を目指したい。徴収方法についても、今年度、引き続き実施を予定している検討会の中で有識者から助言をいただき、丁寧に検討のほうを進めていきたい。

【一般質問の様子は、QRコードより YouTube でご覧いただけます。】

●黒島の遊休地活用について

宮良議員

若者が、事業するにも土地がなく困っている。遊休地を新規就農者のために何とかできないか。



みやらみちこ
宮良道子議員

町長 牛糞の野積みの状態は、現場を見て認識しており、堆肥センターの必要性については感じている。しかし、どういう形で建設をして、運用をどうするか。また、牛糞のみでやるよりも、葉殻やバカラスを混ぜたほうが、よりよい堆肥になる。八重瀬町の堆肥センターも視察したが、経営的にはほとんど聞いている。石垣市は赤字のところもあり、一番大事なのは、どう運用して、どんなランニングコストがかかるか、しっかりと精査しないといけない。将来的には、黒島のみならず必要な場所に堆肥センターが建設できるよう前向きに調査、検討をしていきたい。

●黒島に堆肥センターの建設について

宮良議員

黒島において、人・農地プラン座談会を行つた。その中で、遊休地の解消、道路整備等の基盤整備の情報が多数あつた。現在、当該地の土地所有者の情報確認を進めているが、未相続のままの土地が多く確認されている。遊休地を解消するには、これらの課題解決が必要となるので、まずは土地関係者の相続手続きをお願いしたい。

●多機能型貨物船

宮良議員

民間会社の管轄では、竹富町がやりたいことができないのではないか。

政策推進課長 船自体の船主は竹富町。指定管理で運営してもらうので、その辺は町と船会社の間で十分話し合い、運営方法について検討していくと考える。柔軟に対応できるような船会社の選定になると思う。

こんな質問もしました

●黒島の払い下げ土地の進捗と再整備

●産業廃棄物処理

- 黒島研究所

黒島は畜産が産業として成り立っている。良質な草をつくるには土壤に優しい堆肥を作りたいという声もある。また、堆肥として草地にまいている農家がいるが、糞がついた草を牛は食べない。堆肥

センターでペレット状の堆肥を作れないか。

スパリ!
町政を問う!!



さき えだ ゆうじ
崎枝 裕次 議員

●西部地区簡易水道施設

崎枝議員 万が一の事態が起つた場合、第2浄水場配水タンクのすぐ横を通る3本の管が、地盤が動いた際にまとめて外れる可能性が非常に高い。そうなった場合の復旧策の検討はされているのか。

上下水道課長

町長も含めた話しでは、災害が起きた場合、沖縄県の水道災害応援協定があります。八重山地区管理者は石垣市の水道部になつていて、市から管を借りて、西表に運ぶ方法や、県企業局が持つ、簡易型海水淡水化施設も手配済みです。また、最悪の場合、自衛隊へ災害派遣も依頼する可能性もある。自衛隊の簡易型の海水淡水化施設も活用できるよう調整はしている。

●船浦港整備

崎枝議員 現状、非常に寂れており、雑草も多く、歩道は全く見え

ない。また、廃船の集まる場所になり、船の墓場みたいな現状。船浦港整備計画について検討されていることはあるか。

まちづくり課長 港湾施設の状況を認識している。今後の利活用の検討や整備の必要性については、利用状況などの調査を行い、地元関係者を含め、沖縄県と意見交換を行い検討していきたい。

●住吉公民館の進捗

崎枝議員 住吉公民館とヒアリング等を行つていると聞いていますが、その後の進捗について伺う。

防災危機管理課長

防災拠点施設として緊急防災・減災事業債を活用し整備を検討している。公民館の役員と意見交換会を行い、建設予定地の土地の形態所有者の確認や、地域の合意形成を図ること、あとは緊急防災・減災事業債を活用するのであれば、地域の自主防災組織を立ち上げて、活用できるような仕組みでやつていきたいという話をしている。住吉だけの防災拠点施設だけではなく、西表西部一帯を加味した防災拠点施設でできないか、今後話をしたい。

こんな質問もしました

・・・西表島エコツーリズム推進全体構想

・恒久ヘリポート
・旧上原小学校跡地の管理

●こども子育て支援

三盛議員 年齢ごとに結婚、出産、保育、教育、小中高、大学とそれぞれのライフステージに合った形で伴走型の支援をすることで、誰もが安心して子供を産み育て、十分な教育が受けられる社会づくりを進めていく、これが公明党の目指す子育て応援トータルプラン。町長の子育てに対する思いを伺う。

町長

次代を担う子供たちの支援、応援は、最重要政策として掲げています。トータルに支援し、切れ目のない学びをしっかりと取り組みたい。子育て応援トータルプラン含め、出産から学習、トータルに竹富町として支援していきたい。

●高齢者支援

三盛議員 高齢者福祉計画に



みつ もり かつ み
三盛 克美 議員

は、誰もが住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、持続可能な支援体制の構築とサービス提供の確保に向けて、地域包括ケアシステムを構築し、推進することを目指すと明記されている。西表東部地区で開催されたワークショップの意見交換の中でも、訪問介護の充実を希望する方が多かつたと聞く。訪問介護の充実とは。

福祉支援課長

西表東部地区の福祉について意見交換した。その中で、介護サービスや訪問介護の充実、また老人ホームが欲しいなど、色々なサービスの充実の意見が多く出た。行政として、介護についての初任者研修、ヘルパー研修を充実し、受講した方が地域で介護サービスの従事ができるよう事業所と連携しながらられたらと思う。

●再犯防止推進計画策定

三盛議員 本町も再犯防止推進計画を策定するべきと考えるが、取組について伺う。

福祉支援課長 本町としても再犯防止推進計画の策定は、前向

やま した よし お
山下 義雄 議員

するのかも含めて確認後、町にまた要請をお願いすることで今話が止まっている。

● 成人式と20歳のお祝い

山下議員

成人年齢が18歳になり、高校卒業する子供たちが成人として社会に出ていくが、現在、石垣市では、お祝いをどうするか検討する取組が令和元年度から進められ、非常にいい形で収められた。与那国町、竹富町の20歳の方々も石垣市に参加することも見越して、ような開催を石垣市はしている。与那国町は単独で行つてある。竹富町は島嶼ということもあるが、町としての取組がない、今後何か検討しているのか。

● 世界遺産保全活用 (世界遺産センター整備について)

山下議員

世界遺産センターの整備について、今後どのように整備されて、どう運営をしていくか進捗を伺いたい。

自然観光課長 令和5年度以降、実施設計や建設工事を経て、最終的には、令和8年度の開園を目指して進めている。運用に関しては、県と環境省と連携しながら、町のほうが主体的に運営を行う予定である。

● デンサー広場整備

山下議員

現在の進捗は。

教育委員会総務課長

令和元年度に設計、令和2年度着工に向けて準備をしていったが、地元と協議をした結果、ほかの整備にしてほしいという意見があり、話し合いまとまらなかつた。地元で話し合いを設けて、どのような利用状況に

こんな質問もしました

- ・マイナンバー申請サポート

おおはま かずまさ
大浜 一将 議員

● 学校給食について

大浜議員

食材費について、11月に臨時に物価高に応じてつけた食材費は今年度末までを想定していると思う。来年度の、この物価高に応じた食材費はどういうに考えているか。

社会文化課長 本町としては、民法の改正に伴い各公民館、21公民館にアンケートを取つた。その中で、18歳から対象とするという回答はゼロ、しないという回答が19件、未回答が2件あつた。現在の成人式は、各公民館、地域で行われておる、地域行事という形では、現在のままでお願いしていくたいなと思う。

● 保育所の運営

教育委員会総務課長

保育士の募集をかける場合、何か課題となつていることは。

町外から保育士を募集するに当たり、宿舎の課題がある。島内にできる限り宿舎

の確保をしつつ、募集に当たつていてる。

● 白浜小学校の体育館の雨漏りについて

大浜議員

白浜小学校の体育館の雨漏りがひどく体育の授業に支障を来している現状で、老朽化が進んでいる。築年数と、それを踏まえて今後の対応と計画があるか。

● 教育委員会総務課長

昭和59年に建築で39年経過している。昨年策定した長寿命化計画の中では計画に上がっていない。これから古い物件も含めて、何年に改築していくのか計画を立てるところ。喫緊では4か所、竹富中学校、東部調理場、大原小学校、西表小中学校は、早急に大規模修繕が必要ですので、まず先に進めながら計画を立て、白浜も年次的に早めに取り組めるよう計画を立てていきたい。

こんな質問もしました

- ・幼稚園の運営
- ・歯科診療所

こんな質問もしました

町外から保育士を募集するに当たり、宿舎の課題がある。島内にできる限り宿舎

- ・幼稚園の運営
- ・歯科診療所

上盛 議員

● 集落排水について

小浜集落は、集落の一番高いところから東西南北に下り勾配になつており、その末端は自然流出みたいな方式になつていています。末端付近の家や農地、畑の人たちが災害を被る状況を把握されているか伺う。

◆ お詫びと訂正

議会だよりNo.40号の議員紹介で、上盛政秀議員の生年月日に誤りがありました。正しくは、昭和29年9月22日です。お詫びし訂正いたします。

まちづくり課長

小浜複合型福祉施設に隣接する構造改善センター敷地を確認したところ、6筆の私有地を確認した。整備について、用地の確保や基本構想、予算確保を含めた多くの課題があり、相談時間がかかると考える。今後、要望に沿えるよう、引き続き関係課とも共有し、検討課題の一つとして取り組む。

上盛 議員

● 小浜公園計画について

できれば集落内に整備計画はできないのか伺う。



まちづくり課長

排水末端処理について今回初めて聞いたところである。まず関係課を含め現場を確認したい。そこで、原因調査と対策の工法など検討した後に、必要に応じて排水路改善計画設計など検討していきたい。

上盛 議員

● 竹富町訪問税について

今まで何回持つて、今後また何回計画があるのか、来年度からはどうなるのか。

自然観光課長

検討委員会は、勉強会という形から始めた。昨年度2回、今年度計3回の検討会を予定。来年度早々に審議会にパンタッチするための素案に近いものを現在この検討委員会の中で進めているという状況である。

● 水道事業について

こんな質問もしました

記者の



竹富町の2022年を振り返る字に「芽」が選ばれた。新たな竹富町を築く基礎が整ったことを現しているという。昨年は町長選挙、町議会議員選挙があり、議会も10歳近く若返りするなど、竹富町政にとって大きなできごとになったことは言うまでもない。

竹富町は海を隔てた一町多島の行政区域であるため、町も限られた財源の中から優先順位をつけ、島々の均衡ある発展のために苦慮していることが議会を傍聴していて感じ取れる。

そこで年明け早々、前泊正人町長が「わくわくデジタル化宣言」を発表した。竹富町はデジタルとの親和性が高い。各公民館や島の拠点にネットワーク環境を整備し、島にいながらそれぞれの島とを結んだ会議や研修会を行うなど、時間やコストを削減し、幅広い可能性が期待できる。

これまで町長直行便の開設や電子契約の手続きを可能にしたりと、DX化推進の流れができつつある中で、今後町が実施するDX化の取り組みは興味深く見ていきたい。

近隣の自治体を見ると、国防に絡んだ喧々諤々(けんけんがくがく)の議論が与野党関わらず、激しい論争が繰り広げられている。竹富町も広域的な課題としてどう捉えていくかは気になるところだが、町内の解決すべき課題がたくさんある中で、いかにDX化を推進し、どのように芽が成長していくのかを注視していきたい。

八重山日報社 松村 超

議長宛の文書は議会事務局へ

議長あての文書や案内状は、議長の公務日程を調整する必要がありますので、議会事務局へお届けお願いします。

広報編集委員会

委員長 上勢頭巧
副委員長 大浜一将

E-mail : gikai@town.taketomi.okinawa.jp

議会を傍聴しませんか?

傍聴受付に、複雑な手続きはありません。
詳しくは竹富町議会事務局
☎ 82-3748